

# 青森県立名久井農業高等学校

## 環境研究班 Flora Hunters

高校生ボランティア・アワード2022



### 美ら海を守れ！ 沖縄の赤土流出抑制に挑む

Save the beautiful sea.  
Challenge to control the outflow of Red soil in Okinawa.

AOMORI ↔ OKINAWA



#### ■ 活動概要

半乾燥地の集水と土壌流出抑制のために考案した三和土（たたき）を使った環境技術が今、沖縄の赤土流出問題に挑んでいる。三和土とは、土を消石灰で固化する日本の伝統工法。誰でも安価に簡単に作れることに注目した環境団体や沖縄の高校生が、私たちにSOSを発信したのである。同じ地球の環境問題。三和土が役立つならと試行錯誤を繰り返し、赤土専用の三和土「TYPE沖縄」を考案した。現在は沖縄の高校生や農家の方々と連携した環境活動の真っ最中。3月には北国青森と南国沖縄をオンラインで繋いでリモート環境活動を実施。さらに5月には、沖縄名護に実際に向いてともに活動をしている。コロナは私たちに知恵を出せば活動できることを教えている。今後もたくさんの皆さんと連携し、コロナに負けず一歩ずつ歩みを進めていきたい。



We are  
TEAM JAPAN



2017年4月に青森県立名久井農業高校環境システム科で結成した農業技術開発チーム。2022年8月にストックホルムで開催される水の国際大会で日本代表として出場し、節水型塩類抑制技術を発表する予定である。



#### ■ 日本の宝を守りたい

世界自然遺産の指定を受けている美しい沖縄の海。その日本の宝である青い海の景観と珊瑚などの生物の生態系が今脅かされている。それが赤土の流出。降雨のたびに農地から流出した赤土は、あっという間に海に流れ出し、青い海を真っ赤に染めているのである。美ら海はもちろん、農地崩壊による持続的農業の危機に微力でも貢献したいと考えた私たちは環境班は立ち上がった。



出典<https://bd-wakamono.net/wakawakanikki/05-akatsuchi/>

#### ■ 明日のためのその1 TYPE沖縄の開発

沖縄はシーサーや赤瓦のように独特な赤い粘土でできている。驚くことにこの土は、私たちが長年培った三和土の配合では固まらなかった。試行錯誤の末、辿り着いたのがニガリを加えること。これはニガリで土を糊のようにくっつけ消石灰の固化を促進する古い技術である。誕生したTYPE 沖縄の三和土は新しく古い技術なのである。



#### ■ 明日のためのその2 歩みを止めるな

TYPE 沖縄の技術を引っ提げ、沖縄石垣島に渡る直前にコロナ第6波。途方に暮れたが、私たちは沖縄とオンラインで何度も情報交換を継続。三和土製作のノウハウを伝えた。沖縄の環境問題に貢献したいという私たちと沖縄の高校生や農家の方々の思いがある限り、その歩みが止まることはない。知恵を絞った環境活動が計画された。



#### ■ 明日のためのその3 コロナ禍の新しい活動

3月、オンラインで三和土の作り方を練習した石垣島八重山高校の皆さんが、さとうきび畑に三和土の簡易堤防を施工。さらに5月には、実際に私たちも沖縄やんばるに渡り、北部農林高校と辺土名高校の皆さんと協力してパイナップル畑に堤防作り。地元の農家などの協力もあり無事完成させた。現在は、実証試験の真っ最中である。



#### ■ りんごの国からパインの国へ

私たちの活動を知った皆さんからのオファーで始まった環境活動。2400kmも離れている北国と南国に住む高校生の思いで結ばれたこの環境ネットワークは、環境問題だけでなく、お互いの暮らしや文化を知るきっかけにもなっている。これからはより相手を思い、そしてよりダイナミックな活動に発展させようと、私たちは今日も活動している。



Flora Huntersと辺土名高校の皆さん